

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴ください

記

講 師：中野 雅徳（なかの まさのり）先生

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔保健学講座 特任教授

演 題：顎機能障害 一咬合との関連、ブラキシズムとの関連一

日 時：平成25年 10月24日（木）

17時00分 ～ 18時30分

場 所：歯科棟南 4階 特別講堂

講義趣旨：

顎機能障害（顎関節症）の発症に咬合異常がどのように関わっているかについては意見の分かれるところである。顎機能障害は咬合異常やブラキシズムなどのパラファクションをはじめとする種々の要因が、患者個々で異なるメカニズムによって起こるマルチファクター、マルチメカニズムの症候群であることは確かである。目の前にいる患者が、どのような咬合異常（静的だけではなく動的にも）があり、どのようなメカニズムと時間経過で発症し、現在も症状を持続（増悪）させているのか、治療として咬合をスプリントなどでテンポラリーに、あるいはパーマネントに改善しなくても、顎関節への負荷や過剰な筋活動の誘発を減弱させることができるのか、等々が根拠をもって診断できることが望ましいが、現実にはまだそこまで行っていない。我々の研究や臨床の知見、考え方を提示し、今後の課題を皆さんと一緒に考えたい。

連絡先： 摂食機能保存学分野 三浦宏之（岡田大蔵）（内線5521）